

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
長崎市	高島地区(高島集落)	令和4年2月21日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	2.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	2.0ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none">・炭鉱住宅解体跡地を利用して、高島フルーティートマトのハウス栽培を行っており、企業参入により経営がなされている。・ほとんどの農地が小規模であり、農業生産基盤が極めて弱い状況にある。・集落内には高島市民農園があり、近隣純民の農業体験の場として親しまれているが、利用率の低下が問題である。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

農地利用最適化アンケートにより、現在経営を行っている法人の規模拡大の意向を把握する。
グリーンツーリズムや6次産業化等、他分野との連携により、定年帰農者や移住者など、地域外から人を呼び込む取り組みを進め、集落の活性化に取り組んでいく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向 貸付等の意向が確認された農地はなし。
農地中間管理機構の活用方針 当該地区は現在企業が耕作している土地を除き、農業振興地域外であるため、農地中間管理機構の活用はできない。
基盤整備への取組方針 既存施設の適正管理に努める。
新規・特産化作物の導入方針 高島トマトやメロンの生産性の向上に努めるほか、加工品の開発・販売、トマトの農閑期に栽培可能な新規品目の検討に取り組む。
鳥獣被害防止対策の取組方針 地域ぐるみの捕獲隊を中心とした捕獲活動に加え、ワイヤーメッシュ柵等の新たな被害箇所への新設に取り組む。
災害対策への取組方針 近年の局所的・激甚災害に対応するため、災害保険加入によるリスク管理や気象災害対策に取り組む。